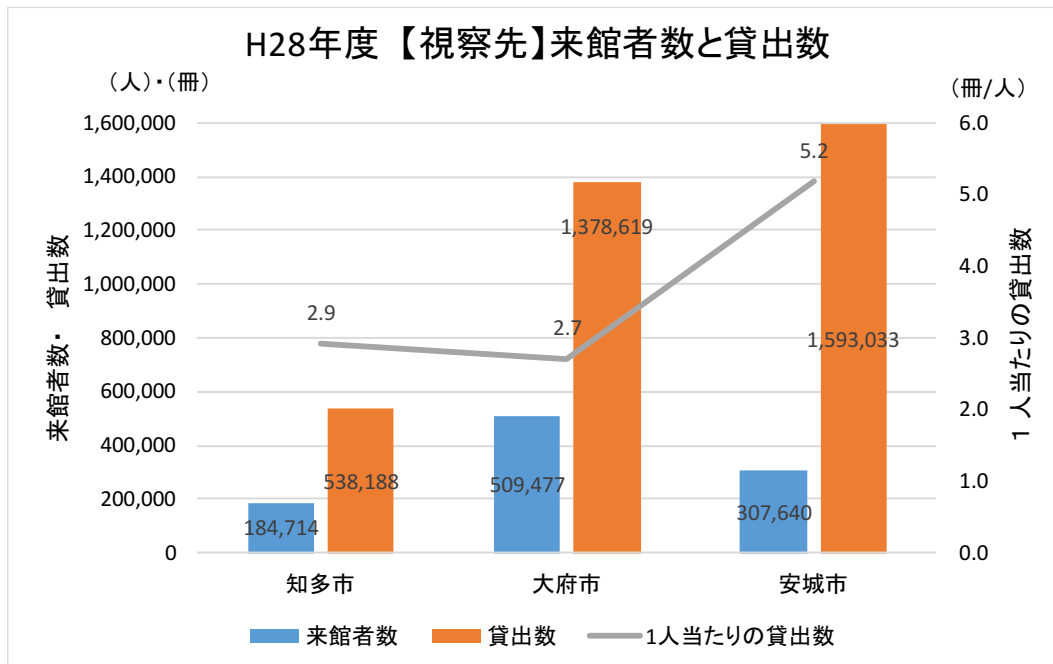


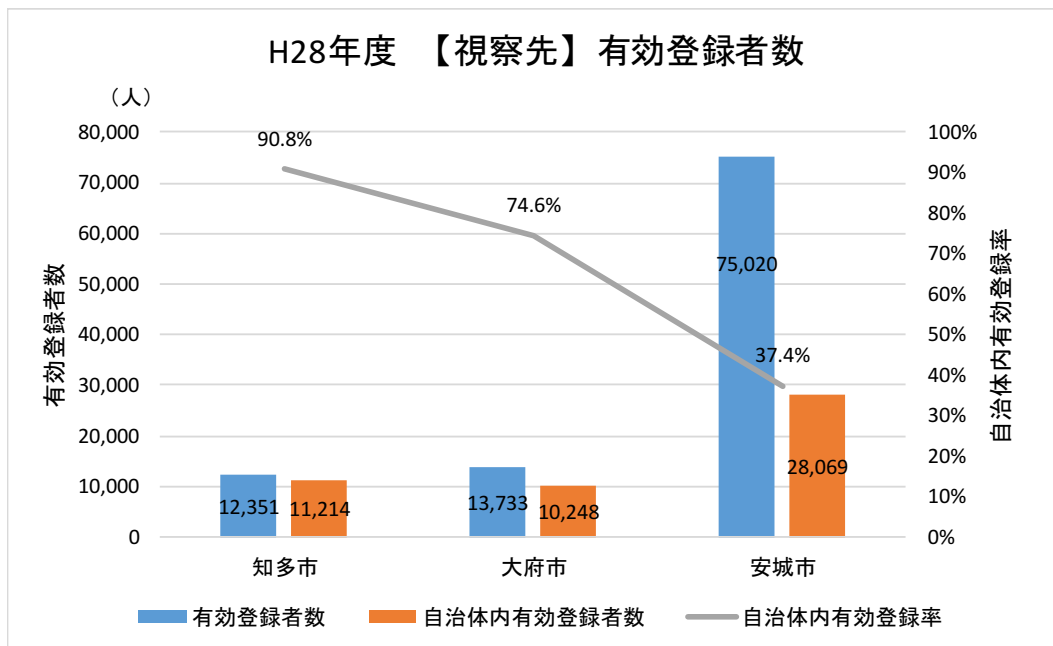
視察先図書館の比較（平成28年度データ）

（1）来館者数と貸出数



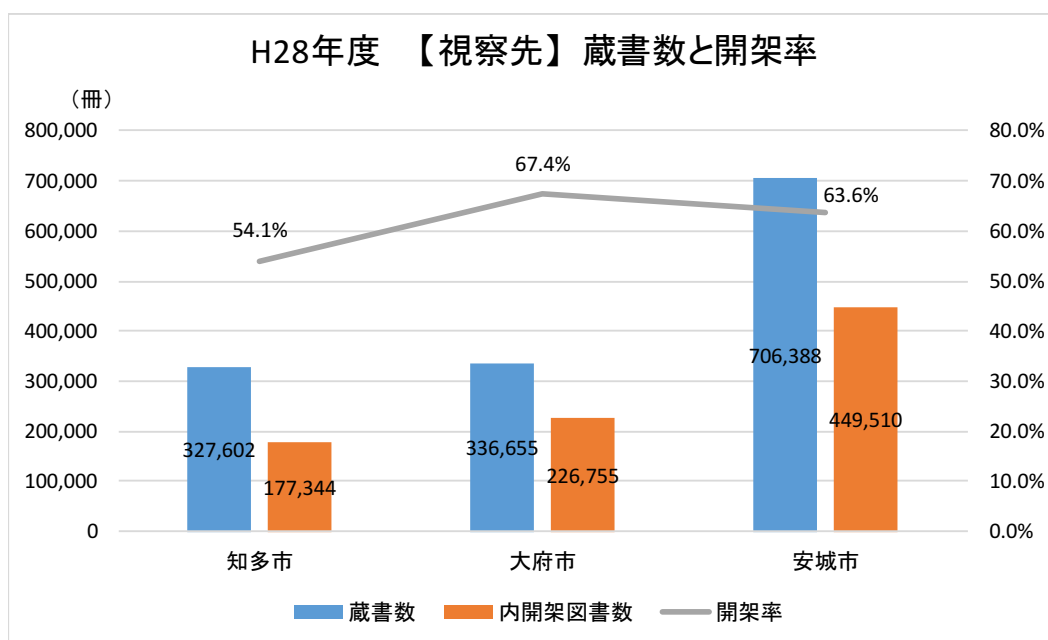
考察：来館者数は大府市が約51万人と多いですが、貸出数は安城市の方が上回っています。単純な1人当たりの貸出数は大府市・知多市ともに約3冊となっていますが、安城市は約5冊であり、大府市・知多市に比べると来館者がより図書を借りている状況です。

（2）有効登録者数



考察：有効登録者数^{※1}は安城市が約7万5千人と多いですが、自治体内有効登録者数が少なく市外の有効登録者数が6割を超えている状況です。大府市も知多市に比べると市外有効登録者数が多く、2割を超えています。安城市も大府市も市外からの利用者を取り込むことに成功していると言えます。

(3) 蔵書数と開架率



考察：安城市の蔵書数は大府市・知多市に比べて倍以上であり、また、施設の延べ床面積も同様であるため、開架図書数も倍以上です。一方で、大府市は知多市に比べて蔵書数、施設の延べ床面積ともに大きな差はありませんが、開架図書数が約 1.3 倍と多く、書架の仕方に工夫があると思われるため、参考にする必要があります。

※ 1 有効登録者数・・・年度内で貸し出しがあった登録者数をいう。